



三重県がん対策推進協議会において
いただいたご意見

がん医療に関するご意見

- 三重大学医学部附属病院はゲノム医療に力を入れており、全国的に見ても成果を上げている。ゲノム医療に関して、県民に知ってもらう意味では、項目の1つとして入れても良いのではないかと考えている。
⇒1つの独立した項目とはしていないが、次期計画において、より記載内容を充実させるべき分野だと考えている。
- がんの死亡率に関連して、膵臓がんの死亡率が高いことが問題になっていると思うが、次期計画への記載は必要ないか。
⇒令和4年度から、三重大学医学部附属病院、三重県医師会、三重県の3者が連携して、膵臓がんの早期発見プロジェクトを全県的に始めたところ。
そういった内容を次期計画にも記載していく必要があると考えている。
- がん診療を受けられる医療機関について、県民にとっては、地域の医療機関の実績などが病院選択にあたり知りたい情報であると考えられるので、県民の視点からいかに分かりやすく医療機関の情報を提供できるかが重要である。
⇒がん診療連携拠点病院・三重県がん診療連携準拠点病院・三重県がん診療連携病院など、県内においてがん治療を行う医療機関の情報を、毎年上記の医療機関から提出される報告書の情報をもとに、情報発信を行っていく。

がんとの共生に関するご意見

- がん患者がコロナの時期に家に引きこもり、パソコンでネット情報を見るが多くなっている。その中には誤った情報もあり、正しい情報をどのように伝えていくかが重要。
⇒科学的根拠に基づかない情報が発信されているということは、国としても課題として認識しており、国計画においても対応が必要と記載されている。三重県でも重要な課題と認識しており、次期計画において、記載が必要であると認識している。



どの分野においても、県民に対する情報発信の重要性に関するご意見があった